

## 周防大島まるかじり

1月18日、日良居庁舎駐車場および日良居グラウンドで「周防大島まるかじり」が開催され、今年も「紅白餅合戦」と銘打って、周防大島町の人口に合わせた約1万3千個の餅が宙を舞いました。

当日は天候にも恵まれ、例年を上回る約6千人が来場し、山口大島みかんの販売や地元料飲店による島飯屋台の出店、子どもたちに人気の消防や警察、自衛隊の車両展示など、会場は大いに賑わいました。締めくくりのみかん鍋の振る舞いにも長蛇の列ができ、大盛況のうちに幕を閉じました。



▲紅白餅合戦の様子



▲日本ハワイ移民資料館前での放水訓練の様子

## 文化財防火デー

1月26日、第72回文化財防火デー行事の一環として、日本ハワイ移民資料館で消防訓練が行われました。

訓練では、地域住民をはじめ、消防署員や消防団員の約45人が参加し、通報訓練やけが人への対応、水バケツリレーによる初期消火訓練など、一連の流れを確認しました。

また、消防署員の指導の下、消火器の取扱訓練も実施されました。

## 鉄鋼スラグを用いた藻場造成 実証事業に関する協定を締結

令和7年12月10日、東和小学校でJFEスチール、宇部工業高等専門学校、周防大島町立東和小学校、山口県漁業協同組合東和町支店、周防大島町の5者による「鉄鋼スラグを用いた藻場造成実証事業に関する協定」を締結しました。

これは、ブルーカーボンの創出および海洋環境の改善を通じた漁業生産性の向上に向け、周防大島町海域において実施する実証事業に関して、相互に連携・協働することを目的としております。

実証事業については、笹川平和財団の令和6年度（2024年度）海洋教育パイオニアスクール事業に周防大島町内4校が採択され、

その内、東和小学校がマリinstone 16 tを用いて藻場造成、ブルーカーボン、生物多様性について実証試験を行うに際し、JFEスチールから材料（鉄鋼スラグ製品等）の提供や生物モニタリング調査費用の支援を受け、山口県漁業協同組合による藻場の管理や、調査時に協力いただきながら実施される予定です。

今後は、東和小学校による藻場造成活動に関するPRや、ドローンを活用した水中観察などを行い、モニタリング調査結果を、宇部工業高等専門学校による学術的な評価を受けながら、周防大島町として藻場拡大の検討を行っていきます。



▲左から、JFEスチール株式会社 スラグ事業推進センター 日野忠昭センター長、宇部工業高等専門学校 杉本憲司教授、藤本浄孝町長、東和小学校 山根基秀校長、星野朋啓教育長、山口県漁業協同組合 東和町支店 小田貞利運営委員長